

企画総務委員会 送付6-017

半蔵門縄文弥生遺跡の保存を求める陳情書

受付年月日 令和6年3月13日

陳情者 提出者 1名

半蔵門縄文弥生遺跡の保存を求める陳情書

千代田区議会議長

秋谷 こうき様

令和6年3月13日



昨年末、皇居半蔵門前の英国大使館跡地より、縄文弥生時代の竪穴式住居跡が40棟発見されたとの報道がありました。当地では三菱地所レジデンスがマンション開発を進めており、3月中に調査を終了して遺跡を埋め戻し建築工事が始まる予定であると聞いています。

この都心部に1万年から3000年も前の縄文弥生時代の人々が生活していたことを示す遺跡は日本の宝です。調査をしたとはいえ、このまま埋め戻してしまえば貴重な遺産が忘れ去られてしまいます。ローマでは、遺跡が発掘されると建物の一階をガラス張りにして中が見えるようにしたり、地下に廊下を作って見学できるようにしたりと文化遺産の保存を最優先して観光に生かしています。

私たちは皇居半蔵門前の英国大使館跡地に、歴史的な遺跡を残すことを要望いたします。こうした遺跡の保存のために、国や地方自治体は容積率の緩和や固定資産税の一部減免措置を実施することを合わせて求めます。

せっかく発見された貴重な遺跡保存を制度的にも援助できれば、マンション価値も高まります。まずは当地に博物館のあるマンションを建設してはいかがでしょうか。議会、行政担当者の皆様の適切なご判断を期待しております。

以上

